

# I 世界史問題

## 注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は8ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

### マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

(3と解答する場合)

I . 次の文を読み、下記の設問 A～C に答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

古くから水は人類の歴史に深く関わってきた。例えば、系統不明とされる（イ）人が築いた、最古の都市文明のひとつとされるメソポタミア文明は、早期から灌漑農業が発達したことがその発展の原動力になったと言われている。また、エジプト文明も、ギリシアの歴史家（ロ）が「エジプトはナイルのたまもの」と記したように、川がもたらす水の恩恵のもとに成立した。

海など、水のある場所は交通路としても利用された。海陸交通の要衝であった地中海東岸では、紀元前1500年ごろからセム語系のくあ人が盛んに交易活動を行っていた。前13～12世紀ごろにはギリシア方面から「海の民」と呼ばれる民族がこの地域に進出し、後にはくい、ティルスといった都市国家を形成していたフェニキア人が地中海貿易を独占するようになった。水運は海に限ったことではない。例えば中国では、前5世紀に黄河と中央平原を結ぶ運河が建設されているし、ヨーロッパでもカール大帝の時代に、内陸部で川を結んでヨーロッパを横断する運河の建設が構想されていた<sup>1)</sup>。

交通路としての海は、戦いの舞台にもなった。前5世紀、アケメネス朝ペルシアの支配下にあったイオニアのギリシア人植民市が反乱を起こしたことからペルシア戦争が始まった<sup>2)</sup>。ペルシアは前480年のくうの戦いでスパルタ軍を破ってアテネに侵入するが、アテネの軍人（ハ）が指揮するギリシア連合艦隊は、ペルシア艦隊をサラミス水道に誘い込んで撃退することに成功した<sup>3)</sup>。

アケメネス朝ペルシアは、（ニ）と呼ばれる農業用地下水路の整備でも知られている。一方、ヨーロッパにおいてはローマが、水道橋をはじめとして高度な給水システムを作り上げた。世界遺産として名高い南仏のガール水道橋はアウグストゥス（オクタウィアヌス）の時代に作られたもので、彼の時代には水道管理官という役職も設置された<sup>4)</sup>。しかし、後にイタリアに侵入してきたゴート人との戦いなどを通して、ローマの水道の多くは破壊されたと言われている<sup>5)</sup>。

中世ヨーロッパでは、8世紀ごろからノルマン人による海や川を通路とした活発な活動が見られた。このうちデーン人と呼ばれる一派は11世紀にイングランドを征服したが、ノルマン人のなかには地中海方面や現ロシア方面にまで進出した勢力もあった<sup>6)</sup>。

中世ヨーロッパの都市では、給水や下水の設備がなかなか整備されず、水が伝染病の媒介となると考えられていた。近世以降は、水の浄化や海水を飲み水に変える技術の開発も行われるようになった。しかし近世に至っても、万有引力の法則を発見したニュートンや、社会契約論者のロックといった知識人の間でも、水の摂取が人間にとって良くないもので<sup>7)</sup>  
<sup>8)</sup>

あるという考え方が根強く存在していたと言われている。

近代の科学・技術の発達は、人間と水の関わりの歴史に新たな局面を開いた。中世から広く使われていた水車は17～18世紀には大型化し、手工業の発達を促進した。18世紀後半イギリスの（ホ）が発明した水力紡績機は、蒸気機関式のものにとって代わられるまで、綿糸の大量生産化に貢献した。水そのものの性質も研究された。古代ギリシア以来、水は四大元素のひとつと考えられていたが、18世紀後半フランスの（ヘ）によって、水が水素と酸素に分解できることが示された。（ヘ）は燃焼を酸素との結合現象として理論化したことで知られている。こうした進歩の一方で、工業の発達により水の汚染が進み、都市に集中した労働者の生活環境の劣悪化などの問題も深刻化した。

18世紀末以降、新しい給水システムや化学的な浄水方法も考案され、ヨーロッパの都市部では下水道網の建設が始まる。例えばフランス第二帝政下のパリでは、雨水用と生活排水用の2種類の下水道の建設計画がたてられた<sup>9)</sup>。それでも、汚水の混入した水の摂取を原因とする疫病による死者は、19世紀に入ってから絶えなかった。こうした状況のなかイギリス人は、植民地インドにおけるヒンドゥー教徒の巡礼地であるガンジス川をコレラなどの発生源と考え、ガンジス川巡礼に対する警戒心を強めたと言われている<sup>10)</sup>。

20世紀以降も海は重要な輸送路である。それゆえ戦争時には船舶も攻撃の対象とされた。例えば第一次世界大戦中、ドイツは潜水艦による通商破壊戦を展開したが、1915年のドイツ潜水艦によるイギリス客船（ト）号の撃沈によって多数のアメリカ人乗客が犠牲となり、アメリカ ドイツ間の関係悪化の一因となった。また、1956年、エジプトのスエズ運河国有化宣言に反発する国々がエジプトへ侵攻したスエズ戦争のように、水路の管理運営をめぐる対立が戦争の火種となる場合もある<sup>11)</sup><sup>12)</sup>。

A. 文中の空所(イ)～(ト)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の空所<あ>～<う>にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次の a～d から1つずつ選び、その記号をマークせよ。

- |     |           |           |         |         |
|-----|-----------|-----------|---------|---------|
| <あ> | a. アムル    | b. カッシート  | c. カナーン | d. フルリ  |
| <い> | a. サルデス   | b. シドン    | c. テーベ  | d. ラガシュ |
| <う> | a. イッソス   | b. カイロネイア |         |         |
|     | c. テルモピレー | d. プラタイア  |         |         |

C. 文中の下線部 1)～12)にそれぞれ対応する次の問 1～12に答えよ。

1. この人物に関する次の問 i iiに答えよ。

i. カロリング＝ルネサンスの文人で、『カール大帝伝』を著した人物は誰か。次の a～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

a. アインハルト

b. アルクイン

c. エリウゲナ

d. ベルナルドゥス

ii. カール大帝の死後フランク王国は、まず843年に3つに分割され、ついで870年の条約で再分割された。中部フランクの北部を東フランクと西フランクに分割・併合することを取り決めた870年の条約の名をしるせ。

2. この国の王で、前6世紀にバビロンを開城し、同地に強制移住させられていたユダヤ人を解放した人物の名をしるせ。

3. これに関する次の問 i iiに答えよ。

i. アケメネス朝ペルシアに対する反乱の中心となったイオニアのギリシア人植民市はどれか。次の a～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

a. オリンピア

b. クノッソス

c. コリント (コリントス)

d. ミレトス

ii. 前6世紀のイオニアには、水を万物の源と考える自然哲学者がいた。イオニア学派の祖とも言われるこの人物の名をしるせ。

4. この人物に関する次の問 i iiに答えよ。

i. オクタウィアヌスが「アウグストゥス」の称号を与えられた背景として、プトレマイオス朝のクレオパトラと組んだアントニウスを海戦で撃破して内戦を終結させたことがあげられる。前31年に起きたこの海戦の名をしるせ。

ii. この人物が前27年に元首政を創始するにあたって用いた、市民のなかの「第一人者」を意味する呼称は何か。その名をしるせ。

5. 東ゴート人は5世紀末に現在のイタリアに王国をたてたが、それに先立つ410年、西ゴート人がローマ市を一時的に占領している。このときの西ゴートの王は誰か。次の a～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

a. アッティラ

b. アラリック

c. オドアケル

d. テオドリック

6. この地で9世紀前半にアングロ＝サクソン系の諸王国を統一した、ウェセックスの王の名をしるせ。

7. 『新オルガヌム』の著者で、帰納法を唱えてイギリス経験論の基礎を築いた哲学者もまた、この技術の研究に取り組んでいた。この哲学者の名をしるせ。

8. この人物が、社会契約論に基づいてイギリス名誉革命を正当化する論を展開した著書はどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 戦争と平和の法
  - b. 統治二論
  - c. 法の精神
  - d. リヴァイアサン
9. これに関する次の問 i ii に答えよ。
- i. 1870年のプロイセン＝フランス戦争でフランス皇帝ナポレオン 3 世を降伏させ、翌年ヴェルサイユ宮殿でドイツ皇帝に即位したプロイセン王の名をしるせ。
  - ii. 第二帝政崩壊後のフランス臨時政府の首班となった人物の名をしるせ。
10. イギリスは植民地インドにおける反英運動をおさえるために、特に反英運動の強い地方のヒンドゥー教徒とイスラーム教徒を分裂させることを目論んだ。この目的で 1905年に公布された法令の名をしるせ。
11. これによってエジプトがその建設資金を調達しようとした巨大なダムの名をしるせ。
12. このときエジプトに侵攻した国でないものはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アメリカ
  - b. イギリス
  - c. イスラエル
  - d. フランス

## II. 次の文を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

世界史上には多数の強力な君主や政治指導者が登場し、その中には独裁者と称される者も少なくない。しかし、実際にはどんな強力な指導者も支持基盤を必要としており、個人の力のみによって支配を行ったわけではない。

例えば、太陽王とも称されたフランスの国王（イ）は、「朕は国家なり」と述べたとも言われることから、個人独裁者と見なされがちである。しかし、実際には、フロンドの乱を起こして当時の宰相（ロ）の王権強化政策に抵抗した貴族に代えて、軍や平民から人材を取り立てて自らの盟友集団を形成した。

一方、権力者にとって、盟友は時に裏切りによって自らを追い落とす脅威にもなり得る存在であるため、権力者はこれを排除する行動に出ることもある。例として、（ハ）大統領の政権を倒してキューバ革命を成功させたカストロが、大臣を多数罷免したことが挙げられる。また、サダム＝フセイン<sup>1)</sup>は、自らが属する政党の実権を握ると、対立する幹部を大量に粛清した。

盟友として最も信用できるのは通常身内であるので、世襲は安定した権力継承の手段として用いられる。オスマン帝国の支配者であり、ビザンツ帝国を滅ぼした（ニ）は、兄弟間の権力争いを避けるため、皇位継承できなかった皇子を殺害する法律を打ち立てた。清朝では、雍正帝<sup>2)</sup>の時代に、後継者の名前を書いた勅書を宮殿<sup>3)</sup>の額の裏に置き、皇帝の崩御の後に公開するという方法が採用された。世襲は現代でも朝鮮民主主義人民共和国<sup>4)</sup>で行われているし、王政や独裁政治の国家だけでなく、民主主義国家でも政治家一族<sup>5)</sup>は珍しくない。

盟友からの忠誠を得るために、指導者は盟友に対して利益を提供せねばならない。特に軍などを厚遇しないと、体制は危機に直面する。フィリピンのマルコス<sup>6)</sup>も最後は軍に裏切られた。

一方、指導者と盟友集団に十分な利益が分配されていれば、一般庶民の生活が苦しくとも体制は維持される場合も多く、非民主体制の諸国では、庶民の暮らしは概して苦しい場合が多い。非民主体制ながら、高度の経済発展を実現したシンガポール<sup>7)</sup>や、毛沢東死去<sup>8)</sup>以降の中国は例外的存在である。コンゴ動乱<sup>9)</sup>後に政権を獲得し、大統領を32年間務めたモブツは、「道路があれば人々が自分を捕まえに来てしまう」として、在任中に道路建設を怠り、国土は荒廃したという。独裁者は、自らにとって潜在的な脅威となる知的なリーダーを育成する高等教育を軽視する傾向が強い一方、独裁者の子女は欧米の名門大学<sup>10)</sup>に多数留学している。また、資源産出国<sup>11)</sup>では、資源が政権に容易に利益をもたらすため、資源をめぐる

内戦が多く発生し、資源を得た者が独裁的になる傾向がある。

経済の低迷は時に体制転換につながる。ソ連の崩壊の重大な要因は、経済の低迷であった。天災等も同様に政権の危機を招く。エチオピア皇帝（ホ）は、同国の飢餓の後に1974年の革命により廃位された。1979年、サンディニスタ民族解放戦線が政権を握った。＜あ＞革命の背景には、1972年の同国の地震への政府の対応に対する不満があった。ミャンマーの軍事独裁政権は、2008年の巨大なサイクロンの後に民主化に向かった。

また、大国との対立や、大国からの支援の打ち切りは、多くの政権の危機を招いてきた。1950年代に＜い＞に成立した左翼政権は、アメリカが支援する軍部のクーデタによって倒された。コンゴ共和国初代首相の＜う＞は、アメリカと対立し、就任半年後に敵対勢力に殺害された。1981年にエジプト大統領に就任した（へ）も、イスラエルとの国交を結んだ見返りに得ていたアメリカの援助が、中東和平の進展に伴い減少する中で、経済の低迷が一因となって政権を追われた。

民主主義国家の場合、指導者は選挙で交替する。1945年7月、イギリスでは労働党の（ト）がチャーチルに総選挙で勝ち、首相として福祉国家の政策を実行した。民主主義国家では体制の崩壊につながるような革命はまれであるが、近年は過激で煽情的な言動で熱狂的な支持を得ようとするポピュリストの政治家が世界に多数現れており、民主主義国家の新たな課題となっている。

A. 文中の空所(イ)～(ト)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の空所<あ>～<う>にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次の a～d から1つずつ選び、その記号をマークせよ。

<あ> a. グレナダ      b. チリ      c. ニカラグア      d. メキシコ

<い> a. アルゼンチン      b. グアテマラ  
c. ブラジル      d. ベネズエラ

<う> a. エンクルマ      b. サーリーフ      c. ナセル      d. ルムンバ

C. 文中の下線部 1)～12)にそれぞれ対応する次の問 1～12に答えよ。

1. この人物に関する次の問 i ii に答えよ。
  - i. この人物が1990年に侵攻し、一時全土を占領した国の名をしるせ。
  - ii. この人物により毒ガスの使用や虐殺の対象とされた、独自の国家を持たない世界最大の民族集団の名をしるせ。
2. この人物の時代に建設が始まり、アロー戦争の際に英仏軍に略奪され、破壊された北京郊外の離宮の名をしるせ。
3. 現在は故宮とも称される、明清時代のこの宮殿の名をしるせ。
4. この国に関する次の出来事 a～dのうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
  - a. 核拡散防止条約からの離脱を宣言した
  - b. 核実験の実施を初めて発表した
  - c. 金日成が死亡し、金正日が後継者になった
  - d. 朝鮮戦争後初めて南北両朝鮮の首脳会談が実現した
5. 韓国初の女性大統領の父親で、1979年に暗殺された韓国大統領の名をしるせ。
6. この人物を打倒してフィリピンの大統領になった人物の名をしるせ。
7. この国を含む計 5ヶ国によって、1967年に東南アジア諸国連合が結成された。この 5ヶ国に含まれない国はどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ
  - a. インドネシア
  - b. タイ
  - c. ベトナム
  - d. マレーシア
8. この後、「四人組」を逮捕して文化大革命を終わらせた首相の名をしるせ。
9. コンゴに独立後も干渉し、この動乱に介入したコンゴの旧宗主国はどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
  - a. イギリス
  - b. オランダ
  - c. フランス
  - d. ベルギー
10. パリ大学を模範として12世紀後半に設立された、イギリス最古の大学の名をしるせ。
11. 1960年に発足した産油国の国際組織の名をしるせ。
12. これの後に成立した独立国家共同体から2009年に脱退した国はどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
  - a. ウクライナ
  - b. グルジア
  - c. トルクメニスタン
  - d. ラトビア